



ご利用者さんとの園芸活動の取り組み

皆さんは園芸療法をご存知でしょうか？園芸療法とは「花と緑で人を癒す」療法です。1812年にアメリカで発祥し、今では日本でも多くの施設で取り入れられています。園芸は適度な運動を伴う活動であり、植物を育てることを楽しみながら身体機能の向上や維持を図ることができます。また陽光にあたりながら植物や土に触れることで五感が刺激され精神面や認知面にも効果がみられます。

このような効果のある園芸活動を第2おこなみではリハビリテーションに取り入れています。当施設の機能訓練室からは畑や花壇が望め、作物の生育する様子や四季折々の花を楽しむことができます。天気の良い日にはご利用者さんと外に出て、作物の生育具合を確かめたり、花壇の世話などを一緒に行っています。普段居室で過ごすことが多い方が畑や花壇の様子を見るために屋外に出てきて下さることもあります。また植物を話題に会話も弾みます。当施設のご利用者の中には農業に従事されていた方も多く、育て方や収穫時期といった様々な助言をくださる方もいます。収穫の時期にはリハビリテーション科のスタッフがその人に適した方法でサポートしながらご利用者の皆さん自身の手で収穫して頂いています。皆さん楽しげに、それでいて真剣な表情で収穫して下さっています。採れた野菜を見て満足そうな表情をなさったり、歓声を上げたりされる方もおられます。

第2おこなみに来られることがあれば、是非一度畑にお立ち寄りください。

老人保健施設 第2おこなみ
リハビリテーション科 岩瀬 俊樹

